

笑彦真のために

令和5年2月1日発行
議会だより
No.428
年4回発行

表紙説明は裏表紙をご覧ください



目次

目次

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 01 表紙 | 06 委員会 |
| 02 目次／LINE友だち追加のご案内など | 08 一般質問の目次 |
| 03 11月定例会の流れ | 09 一般質問(20人) |
| 04 11月定例会議決結果 | 19 2月定例会の予定／委員会開催記録 |
| 05 議決ピックアップ解説 | 20 表紙の説明／編集後記など |

あなたの声をおまちしています

- 議会での質疑や議会だよりの内容等、ご意見・ご質問をお寄せください。
- 議場傍聴席のアンケート用紙、郵便、メール等でご意見おまちしています。

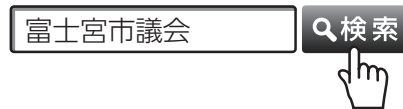
アンケート用紙 → 傍聴席アンケート回収箱に
郵便 → 〒418-8601富士宮市弓沢町150番地
メール → c-jimu@city.fujinomiya.lg.jp



議会を『ネット』で見よう！

本会議のインターネット映像を配信しています。「録画映像」と「ライブ中継」の2種類です。
下のQRコードからインターネット中継・会議録検索システムが、スマホやタブレットから見られます。

※インターネット中継の配信内容は、公式記録ではありません。



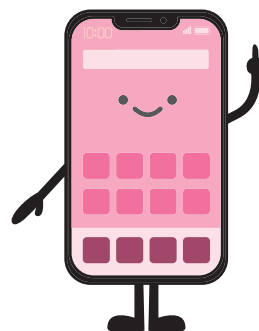
議会だより電子版のご案内

富士宮市ホームページから、議会だより電子版(PDF版)を見ることができます。バックナンバーも格納していますので、是非ご利用ください！



富士宮市LINE友だち追加のご案内

市公式LINEに、「議会」カテゴリーが追加されました。議会の定例会、委員会、その他のイベントなどを投稿しています。





議案(条例の一部を変えることや、令和4年度補正予算など)について審議し議決しました。

11/28

議案審議 審査付託^{※2}

チェック!P4・5

付託された案件について、常任委員会では詳しく調査検討をしました。それ以外にも常任委員会は、所管事務調査^{※3}を行うこともできます。



11/24

開会 提案理由説明^{※1}



一般質問とは、議案とは別に、議員が市の事業全般について執行状況や将来の考え方などを問い、適切に進んでいるかをチェックするものです。また、議員は活発に市に対し提言を行います。

11/29 ~12/1

常任委員会開催

チェック!P6・7



常任委員会に付託された案件を含め、その他の議案について、審議し議決しました。



12/9

議案審議 閉会

チェック!P4



12/6~9

一般質問

チェック!P8~18

用語 解説



- ※1… 市が市議会に対して、提出する議案の説明を行うことです。
- ※2… 一部の議案については、より詳しく審査を行うため、所管の常任委員会に審査を託します。この託す行為を“付託”といいます。
- ※3… 所管する事務について任意に調査することを、“所管事務調査”といいます。富士宮市議会には、所管する事務に応じて3つの常任委員会(総務文教、環境厚生、産業都市)が組織されています。

11月定例会 議案審議

議案番号	件名	議決結果
議請第1号	「不登校児童生徒に対して、多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書」の提出を求める請願	採 択
報第32号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告について	報 告 済
報第33号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告について	〃
議第61号	富士宮市営住宅条例の一部を改正する条例制定について	原 案 可 決 全 会 一 致
議第62号	富士宮市議会議員及び富士宮市長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部を改正する条例制定について	〃
議第63号	富士宮市議会議員及び富士宮市長の選挙における選挙公報の発行に関する条例の一部を改正する条例制定について	〃
議第64号	富士宮市職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例制定について	原 案 可 決 賛 成 多 数
議第65号	富士宮市個人情報の保護に関する法律施行条例制定について	原 案 可 決 全 会 一 致
議第66号	清掃センター灰出コンベヤ室更新工事請負契約の締結について	〃
議第67号	富士宮市宮万野住宅建設工事D棟工区(建築工事)請負契約の変更について	〃
議第68号	山宮ふじざくら球技場人工芝等整備工事請負契約の変更について	〃
議第69号	公の施設の指定管理者の指定について	〃
議第70号	公の施設の指定管理者の指定について	〃
議第71号	令和4年度富士宮市一般会計補正予算(第6号)	〃
議第72号	令和4年度富士宮市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	〃
議第73号	令和4年度富士宮市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	〃
議第74号	令和4年度富士宮市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	〃
議第75号	令和4年度富士宮市水道事業会計補正予算(第2号)	〃
議第76号	令和4年度富士宮市下水道事業会計補正予算(第2号)	〃
議第77号	令和4年度富士宮市病院事業会計補正予算(第2号)	〃
議第78号	令和4年度富士宮市一般会計補正予算(第7号)	〃
議決第3号	不登校児童生徒に対して、多様な学習機会の確保のための制度の確立を求める意見書の提出について	〃
議決第4号	核兵器のない世界の実現に向けて一層の取組推進を求める意見書の提出について	〃

※議請＝請願、報＝市からの報告、議＝条例・予算・契約などの議案、議決＝議会からの議案 の略。

※議案番号は、令和4年2月定例会からの通し番号。

※詳しくは市議会事務局（電話 2 2 - 1 1 9 1）までお問い合わせください。

【賛否が分かれた議案】		○は賛成。×は反対。																						
議案・結果	議員名 (議席番号順)	渡辺佳正	若林志津子	近藤千鶴	辻村岳瑠	細沢 覚	望月則男	齋藤和文	佐野寿夫	植松健一	仲亀恭平	臼井由紀子	深澤竜介	佐野 孜	佐野和彦	船山恵子	佐野和也	望月芳将	諏訪孝敏	鈴木 弘	村瀬 旬	小松快造	松永孝男	
		議第64号	富士宮市職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例制定について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○

※議長は表決に加わりません

議第61号 富士宮市営住宅条例の一部を改正する条例制定について

—若林 志津子 委員—

今回の改正では、市営住宅入居の際に必要な連帯保証人について、市内居住の要件を廃止することになりました。また、入居希望者が家賃債務保証業者と保証契約を締結した場合には、保証業者が連帯保証人になります。保証業者は(社)全国保証機構に加盟している業者で県内には3社あります。令和5年1月1日から施行となり、市営住宅公募の際には市ホームページにて周知することです。今までは連帯保証人を付けられなかった方は市営住宅に入居できませんでしたが、この改正で入居できることとなります。議会の一般質問では他市でこの制度を導入しているとして制度の導入を求める質問があり、それが実現したこととなります。



▲市営万野住宅

議第64号 富士宮市職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例制定について

—植松 健一 委員—

本議案は地方公務員法の改正により、市職員の定年を延長することなどに伴い、13条例の一部を改正し、1条例を廃止するものであります。

これは今後、市職員の定年年齢を現在の60歳から65歳へ引き上げるため、令和5年度から2年度に1歳ずつ段階的に定年を延長するものであり、令和13年度には定年が65歳となります。

また、この段階的な延長に伴う職制上の段階の扱いや、管理監督職務の延長、給与手当や退職手当支給に関する扱いなども改正されます。

さらに、定年が延長されてもその定年前に退職し、引き続き時間を短縮して勤務する定年前退職短時間勤務職員についての規定など、定年延長に関係する様々な事項の改正を行うためのものです。



議決第4号 核兵器のない世界の実現に向けて一層の取組推進を求める意見書の提出について

—佐野 寿夫 委員—

富士宮市議会は議員発議により、政府に対し核兵器保有国と非保有国の橋渡しを具体的に進め、今こそ「核兵器のない世界」の実現に向け取組を進めることを強く要望しました。

また、2年前には、市民の会の方々から同様の趣旨の陳情があり、富士宮市議会として国に陳情書を提出した経緯もあります。今、北朝鮮はかつてない頻度と勢いで弾道ミサイルを発射しており、ロシアは国連安保理常任理事国でありながら、国際法を無視してウクライナへ侵攻し、これまでの国際秩序は危機に瀕しています。

以下は、今回提出した意見書の概要です。

- ①核兵器禁止条約の批准に向けた動きを加速するために、締約国会議にオブザーバー参加すること。
- ②来年のG7広島サミットなど、今後開催が予定されている様々な国際会議において合意形成を図り、共通基盤の形成に貢献すること。などを求め、意見書を提出しました。



議会運営委員会

佐野 和彦 委員長コメント

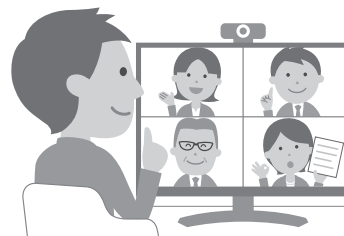
新型コロナウイルス感染症の再拡大の兆候が出ており、第8波と言われている中、11月定例会を迎えました。

議会運営委員会においては、現状を踏まえた適切な議会運営を委員全員で考え、無事に終えることができました。また、一般質問では20人もの議員が登壇し、当局を質しました。

また、議会運営の課題となっている、委員会のオンライン開催については、委員会条例や会議規則の一部を改正し、感染症拡大時や災害時にオンラインで開催できるように協議をしているところです。

もう一つの課題となっている、富士宮市議会の個人情報保護に関する条例についても、各会派から検討結果を持ち寄り、協議を進めているところです。

このように多くの課題がありますが、委員全員で乗り切り、議会が市民の笑顔のためにあることを念頭に置き、進めていきます。



総務文教委員会

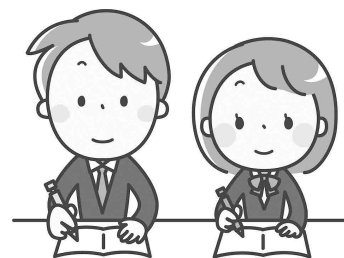
齋藤 和文 委員長コメント

11月定例会では、「不登校児童生徒に対して、多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書」の提出を求める請願が出され、審査を付託されました。

請願者より、児童生徒にあった学習環境を保障する教育機会確保法の説明、不登校に対する思い、そしてそれぞれにあった居場所を作ることの重要性などの説明がありました。その後、委員から請願者へ、フリースクール等の定義、市内や近隣市のフリースクール等の現状の質疑がありました。また、委員から教育委員会へは、フリースクールはあるべきなのか、作りたいのか？との質疑があり、利用したい保護者や子どもがいれば、そこが自分の居場所ということで、必要な場所になるのだろうと回答がありました。その他、本当に多くの意見質疑が出されました。その後全員異議なく、本請願については採択すべきものと委員会では決定を致しました。

続いて、富士宮市個人情報の保護に関する法律施行条例制定についても、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

所管事務調査では、『白糸ノ滝』の整備状況、今後の課題、整備基本計画の改定に関する説明と現地調査が行われました。



環境厚生委員会

渡辺 佳正 委員長コメント

令和5年4月から富士宮聖苑の運営を担う指定管理者の指定について、審査を付託されました。過去5年間、同施設を指定管理者として運営し、全国でも同様の施設を多数手がける事業者「富士宮斎苑グループ」について、高度な技術とノウハウを有すること、不測の事態に対する全国的なバックアップ体制があること等を評価して、同事業者を今後5年間の指定管理者とすることに決定しました。

また、所管事務調査では、①「誰一人取り残さない福祉の仕組みづくり」として市が取り組んでいる重層的支援体制整備事業の進捗状況、②令和6年度からの開始に向けて準備を進めているプラスチックごみ分別回収について、多様なプラスチックごみの分別方法、市民への説明会の開き方、リサイクル事業者との協議状況などについて、当局の説明を聞きました。

プラスチックごみの分別には、市と事業者の努力だけでなく、市民の理解と協力が不可欠です。資源循環による地球温暖化対策という大切な意味を、市民にしっかり伝えていくことが求められます。



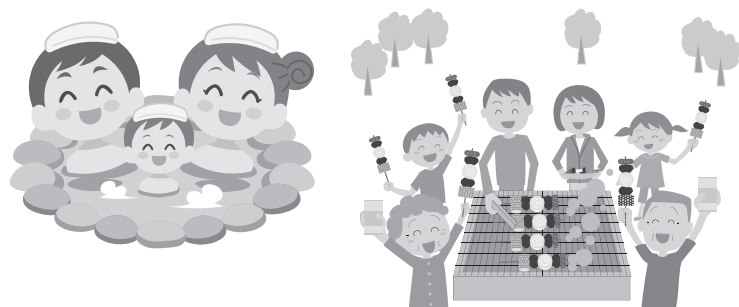
産業都市委員会

辻村 岳瑠 委員長コメント

議第70号公の施設の指定管理者の指定について(新稲子川温泉ユー・トリオ)、現在の指定管理者(事業者)の指定期間が令和4年度で終了することから、令和5年度以降の指定管理者の指定について当委員会に審査を付託されました。

審査のポイントは、ユー・トリオがこれまで以上に、利用者にとって安全で、安心して楽しめる施設として運営を任せられる事業者であるかという点です。市当局の説明によると、以前問題となったレジオネラ属菌対策をはじめ、あらゆる面で高い評価を選定委員会において得ており、決定することとしました。ユー・トリオが更なる地域の賑わいと発展に寄与する施設となることを期待します。

また、政策課題である、ふじのみやの一次産業イノベーションについては、畜産業の長年の課題であるふん尿処理について、様々な可能性を追い求め市内外の事業者を視察しました。以下視察先と内容。



▲温泉やバーベキューが楽しめる、新稲子川温泉ユー・トリオ

- ・株式会社丸文製作所(ペレットボイラーの現状、牛ふんペレットの可能性)
- ・有限会社市の瀬牧場(堆肥処理の現状と課題)
- ・株式会社リオグランデ(堆肥処理施設)
- ・JAふじ伊豆(牛ふん堆肥の市場ニーズ)

11月定例会の一般質問

20人の議員が、市の行財政全般についての執行状況や将来への考え方等を問い質し、適切に進んでいるかをチェックしました。また多くの議員は、市に対して施策の提言を行いました。



Topics 項目別の質問内容

議員はこんな内容を質問しています！

こども・学校

- ・インクルーシブ教育 →P10
- ・給食をよりおいしくするために →P14
- ・放課後児童クラブの困難事例 →P14
- ・食材費高騰による給食の対応 →P15
- ・平和教育のための調査、研究 →P15
- ・学校における「生活のきまり」 →P16
- ・子どもの権利条例制定に向けて →P16

医療

- ・AEDの設置状況 →P10
- ・救急搬送 →P14
- ・救急医療情報キットの設置 →P17

災害・防災

- ・台風等の災害被害から学ぶこと →P13
- ・大沢崩れの影響と市の対応 →P18

その他

- ・市全体の活性化 →P10
- ・空き家対策 →P11
- ・ウォーキング・ランニング・サイクリングコース →P11
- ・県道158号線とよろずや交差点 →P12
- ・これからの敬老会の在り方 →P12
- ・オーガニックビレッジ宣言 →P12
- ・18歳成人の権利義務と成人式・敬老会 →P14
- ・令和5年度予算編成方針 →P16
- ・村山浅間神社の整備 →P16
- ・城山公園の駐車場確保 →P16
- ・物価高騰と市民生活 →P17
- ・県道180号線と富士山に係る施設 →P17
- ・富士根北、山宮、大岩、万野の警察施設 →P17
- ・市役所7階を使用した福祉的就労食堂 →P17
- ・みどりの食料システム戦略 →P17
- ・富士宮まつりを未来につなげる →P17
- ・河川へのごみ投棄を減らす方策 →P18
- ・フィルムパークの売買 →P18

市・公共サービス

- ・公用車の管理 →P9
- ・公共料金のキャッシュレス化 →P9
- ・市民へのサービス向上 →P11
- ・公共交通の推進 →P11
- ・公共施設の長寿命化・建て替えと財政計画 →P12
- ・公共Wi-Fiの整備 →P15

観光業

- ・万野風穴の有効利用 →P9
- ・北部地域の開発動向 →P11

新型コロナウイルス感染症

- ・新たな局面における感染症 →P10
- ・コロナとインフルエンザの同時感染 →P10

介護

- ・超高齢化社会の介護問題 →P13
- ・介護予防・日常生活支援総合事業 →P15

紙面の大きさ上、掲載しきれなかった項目

- ・子どもふれあい広場と児童館
- ・G I G Aスクール構想の進捗
- ・富士山噴火への対応
- ・改正動物愛護管理法
- ・安心な通学路と防犯カメラ
- ・市地域防災計画
- ・SDGsの実現に向けて
- ・違法盛土
- ・ひとり親に対する支援拡充を求めること
- ・運輸事業者への支援

※一般質問の内容は、議員自身が11月定例会議事録に基づき記述しています。



もちづき のりお
望月 則男
(富岳会)

公用車の運用のDX化について

問 公用車の所有台数は何台で、適正台数の決定はどのように行っているか。

部長 計75台。各課での管理から集中管理体制に変更して半数程度に削減した。旧芝川町との合併があり増えたが、車検に合わせ処分するなどし、現在の台数になっている。

問 使用状況が見える化し、市民に対し示すことで安全性や適正利用について職員の意識向上につながると考えるがいかがか。

部長 ドライブレコーダーはおおむね装備済み。事故等の場合は、事故を起こした職員とともに確認し、検証等を行っている。GPSの登載は、安全運転や適正利用に寄与する可能性やビッグデータを解析することで、人流を把握し、感染症予防対策に役立てるなど、様々な分野で

活用が進んでいるが、運用面、管理する人員の負担等の課題から、現状では導入する予定はない。

問 DX化することで、夜間や土日に公用車を市民や観光客に貸し出すことはいかがか。

部長 公用車は夜間と土日の頻度はそんなに多くはない。観光客などへの貸出しも視野に入れた中で研究したい。

意見 当市は、車がなくては観光ができない難しい地域。富士宮市は小水力発電で日本一ということもあり、車がなければ来られないのではなく、富士宮市でつくった電気で走る車があるということがアピールできる画期的な材料となる。また、その車をラッピングすることで宣伝することも可能になり、前向きな検討を願う。

公共施設でのキャッシュレス決済について

問 公共施設キャッシュレス決済がどの程度進行するのか伺う。

部長 12月1日から証明書等の手数料に対する決済を開始。今後、他の施設もDX推進計画に基づき逐次推進をしたいと考えている。



うえまつ けんいち
植松 健一
(至誠)

天然記念物万野風穴の有効利用について

問 県は平成22年の調査で、閉鎖されている風穴を再び公開することを提案している。その後の動きがないがどのように考えているか。

部長 県により天然記念物万野風穴保存管理計画が策定された。それにより富士山火山の活動史と文化、自然環境の成り立ちを知る学習の場として提供することが切望され公開に向けての留意事項が示された。しかし、万野風穴が世界遺産の構成資産候補から外れたことから、具体的な検討がなく現在に至っている。この提案を重要なものと考えているが、現状では安全性に確証を持たず、公開に向けての整備は難しいと考えている。

問 現在、万野風穴池田公園は風致公園として機能していないと感じるがいかがか。

部長 風致公園として開設され48年が経過し、樹木の高木化による修景物の視認性の悪化や周辺への折れ枝や落ち葉などの課題もあることから、繁茂した樹木の整理により公園内で休憩、散策をしていただけるよう風致公園としての機能向上を図り、また大変貴重な天然記念物のある公園として適切な維持管理に努めていきたい。

問 今後、近隣の洞窟も含め風致公園として機能させ、さらに観光名所とするための整備を行うてはどうか。

部長 万野風穴の近隣には屋敷穴、弘法穴、窓穴、銀河風穴、観音穴、新万野風穴の6箇所が発見されている。これら万野溶岩流によって形成された溶岩洞窟は、生成時には繋がっていた可能性もあると報告されている。富士山の噴火による溶岩流の特徴を示す大変貴重なものなので、万野風穴池田公園を利用しながら、市内の溶岩洞窟や富士山噴火、溶岩及び自然について学ぶことができるような説明や講座開催などを検討して行きたいと考えている。



すわべ たかし
諏訪部 孝敏
(育成)

インクルーシブ教育について

問 インクルーシブ教育の取組の現状と課題について伺う。

教育長 共生社会の実現に向け、学校教育におけるインクルーシブ教育システムの構築は重要であると考えている。子ども一人一人の多様な教育的ニーズに対応するための支援者を十分確保すること、また多様性を受入れ、認め合う学級づくりや地域社会づくりについて、しっかり考えていきたい。

AED設置について

問 夜間や休日等により迅速に対応するために、身近なコンビニエンスストア等への設置を提案するが見解を伺う。

部長 コンビニエンスストアは24時間対応ができる場所が多いということで、いざという場

面に備えることにより効果は高いと考える。市が民間施設に設置するという視点で考えると、費用面、消耗品の交換や点検などの継続的な管理の問題に加え、店員などの普通救命講習の受講などへの店舗の協力のほか、多業種との兼ね合いなどがあり、設置は難しい。

新たな局面における新型コロナウイルス感染症対策について

問 新型コロナウイルス感染症の影響で売り上げが落ちている中、原材料や燃料費の高騰に伴う経費や仕入れ額の増加により、業者は二重に苦しめられている。緊急的に支援策が必要と考えるが、他市の動向を踏まえて市長の見解を伺う。

市長 当市においても幅広い業種において大きな影響を受け、非常に厳しい状況となっていることは理解している。事業者の減収には様々な要因があり、個別相談にて対応が必要であると考える。国や県の支援を見極めた中で、地域性を配慮し、市独自の支援事業を行う。



ほそざわ さとる
細沢 覚
(育成)

新型コロナウイルス感染症とインフルエンザに同時感染した場合、同時流行した場合について伺う

問 児童生徒の新型コロナウイルス予防接種率(年齢別)について。

部長 接種者数は、小学校1年生から中学校3年生までの対象者約1万人のうち約4800人で、学年が上がるほど接種率も高くなっている。受験生である中学3年生では、約8割の生徒が2回目まで接種している。

問 高齢者の新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの予防接種の接種率について。

部長 コロナワクチンの65歳以上の接種率は、2回目までが95.7%、3回目が92.4%。インフルエンザの予防接種は今年度の最終は60%に達することも予想されるが、医療機関からの実績

報告が月遅れとなることなどから把握できない。同時流行に備え、新型コロナウイルスとインフルエンザの予防接種の啓発を行う。

問 同時感染を防ぐ方法について、市民への徹底した周知方法を伺う。

部長 HP等で、市販の解熱剤、風邪薬、検査キットを家庭に常備し、陽性になった時に備えて、食料品の備蓄及びインフルエンザ・コロナ両ワクチン接種を済ませておくことを周知しているところである。

富士宮市全ての活性化について

問 富士宮まつりの際に、市内小中学校を休校または代休とすることについて伺う。

教育長 富士宮まつりに関わる子どもたちが比較的多い学校では、振替休日になるように教育課程を編成している。一方で学校を休校にすることは、ふだんどおりの仕事や生活ができなくなる家庭に大きな負担がかかるため、現状通り地域や学校の実情に応じて週休日の振替日を設定するのがよいと考える。

※一般質問の内容は、議員自身が11月定例会議事録に基づき記述しています。



ふなやま けいこ
船山 恵子
(富岳会)

市民へのサービス向上のために

問 市長への手紙は、令和元年から4年度現在まで何件あったか。

部長 元年度42件、2年度109件、3年度54件、4年度11月末現在31件である。

問 市長への意見、要望等の内容と回答を市のホームページに掲載し、市民に公開することはできるか。

部長 広聴という位置づけで市長への手紙等も行っている。市民感覚、また課題をリサーチすることによって業務の改善につながる。今は難しいけれども、考えていることをお伝えすることで信頼関係が構築できる。公開できるものは公開して、意見共有、課題共有することで、まちづくりの活性化の力になると思われる。実現に向けて取り組んでいきたいと思う。

公共交通の推進について

問 富士宮駅南側の貫戸、高原、高原ニュータウン及び山本地域に宮バスを運行できないか。

部長 ご要望の地域に宮バスを運行することは大変難しいものとする。市内の公共交通を便利に利用するための情報をお伝えする。一般タクシーには、運転免許証を返納した65歳以上の方を対象に1割引制度がある。お得なクーポン券も販売。イオンでは、1,000円のお買い物をするすると宮バスと宮タクで使える100円分のサービス券を発行。市でも運転免許証を自主返納した65歳以上の方に、市内の公共交通で利用できる公共交通補助券を交付する施策を展開している。公共交通を利用する場合、往復ともに同じ交通手段を考えてしまいがちだが、それでは使い勝手が悪く、公共交通を敬遠してしまう。これらのお得なサービスを利用したり、往復で異なる交通手段を組み合わせさせていただくことを御一考していただきたいと思う。



ふかさわ りゅうすけ
深澤 竜介
(無会派)

北部地域の開発動向と提案

問 北部方面の観光施設の開発動向はどうか。

部長 道の駅の隣接地では、民間事業者によるホテル建設の計画がある。朝霧地区では、静岡鉄道系の会社が令和5年夏頃のオープンを目指し、約14万㎡の土地でオートキャンプ場を計画。県営富士養鱒場と猪之頭公園では、静岡県が公園のキャンプ場活用を検討。その他、キャンプ場やグランピング施設の相談は多数ある。

問 富士宮の観光の問題点として、北部方面に来られた観光客の経済循環が市内全体に広がらない点がある。そこで、まちなかの店舗で使えるクーポン券の発行を提案するがいかがか。

部長 クーポン券は、北部の来訪者をまちなかに誘導するために必要なものであり、関係団体に声をかけながら進めていきたいと考えている。

空き家対策の提案

問 空き家の件数とその苦情件数はどれくらいあるのか。

部長 6年前の調査では1,130件あり、苦情は令和3年度86件、4年度は11月までで67件。

意見 解体費補助の件数が、令和3年度に1件、4年度も今のところ事前協議申請1件は、少なすぎるのではないかと。また、建物を解体すると固定資産税・都市計画税が増額するため、解体しないで放置する方もいる。空き家を解体した場合、数年間税金を上げない制度を提案する。

白尾山・明星山・高原・岩本山ウォーキング・ランニング・サイクリングコースの提案

問 山本高原地区公園の概要はいかがか。この公園と南部の公園のコースの設置を提案する。

部長 令和4年8月に用地取得が完了し、令和5年度工事着手の予定である。面積は約6,100㎡である。市内ウォーキングマップの改訂に合わせて、各団体に意見を聞き、検討したい。



さの かずや
佐野 和也
(育成)

**県道158号大坂富士宮線及び市道大塚弓沢線
交差点(通称よろずや交差点)について**

問 市としては危険性をどのように捉えているのか。また、大岩2区と上小泉区から富士宮東小学校と富士宮第一中学校に通学する児童生徒の数と通学路について伺う。

部長 市としては、狹隘にもかかわらず交通量、の多い危険な交差点と認識している。東小に33人が、一中に25人が通学している。よろずや交差点は通学区域内にある。

問 市の考えと今後の計画について伺う。

部長 市の考えと計画としては、県道大坂富士宮線の北側に歩道を設置し、市道大塚弓沢線については、交差点南東の広い水路については蓋つきの側溝に入れ替え、歩行者スペースを確保していく。交差点については、関係地権者から

事業への同意を得ることができたことから、県と市で事業調整を図っていきたい。

これからの敬老会の在り方について

問 敬老会の必要性について。年一回の敬老会も大事だが、高齢者に関する別事業に転換したらどうか。

部長 敬老会は高齢者の長寿を祝い、外出機会の創出や地域コミュニティの再確認などのために、各自治会が内容を考え開催しているもので、令和2年度のアンケート調査ではそういった声はごく一部だったので、市としては自治会において実施の意向がある限り、引き続き必要な事業として敬老会の開催の支援を継続していきたいと考える。また、参加されている方、運営に携わっていただいている役員の方々、個人個人からは様々なご意見があろうということは推察するが、実施主体である自治会の長である区長、区長会の皆様と御相談させていただきながら、今後の在り方については検討していくものと考えている。



わたなべ よしまさ
渡辺 佳正
(日本共産党議員団)

**近い将来に集中する公共施設の長寿命化・建て
替え工事について**

問 市立病院と清掃センターの建て替え時期とその規模についてどう考えているか。

部長 両施設は長寿命化に向けたメンテナンスに取り組んできて、市民のニーズに応えられており、建て替え時期はかなり先になる。規模として、病院は現在と同規模で費用は200~300億円。清掃センターはごみの削減・資源化により、現在より小規模になると考えている。

問 道路・橋、上下水道などのインフラを含め公共施設全体の更新について、中長期的な財政見通しを示す必要があるのではないか。

部長 予算編成の実務上、その必要性は低い。

問 様々なコスト削減を図るというが、人口減少による税収減、建築費用上昇、設備費用のコ

スト増も考慮した財政計画が必要ではないか。

副市長 これまで市の負担でやっていた道路・橋梁などの修繕について、今は国の交付金や起債が使えるように時代が変わっている。

問 長寿命化と建て替えに関する中長期的な計画について、市民や議会への説明をどう進めていくか。

部長 職員研修や市民ワークショップの様子を市のホームページに掲載している。

意見 総合計画を立てるときは、市民が安心感を持てるよう長期的財政根拠を示してほしい。

有機農業推進のオーガニックビレッジ宣言を

問 有機農産物の生産・販売・加工品開発などに取り組んでいる有機農家を後押しするために、市がオーガニックビレッジ宣言をしたらどうか。

部長 現時点ではハードルは高いが、先進的な他市町の情報収集や関係者との連携などで、当市の実情に合った有機農業産地づくり推進計画の実現に向けて調査研究を進めていきたい。

※一般質問の内容は、議員自身が11月定例会議事録に基づき記述しています。



こまつ かいぞう
小松 快造
(富岳会)

超高齢化社会における介護問題について

問 ①介護難民について。②老老介護及び認知介護について。③高齢者の虐待問題について。④高齢者の一人暮らしについて。⑤成年後見人トラブルについて。

部長 ①介護や支援が必要な方がサービスを受けようとする場合は、介護保険制度にのっとり要介護認定の申請を行う。介護支援専門員や地域包括支援センターが中心となり、本人や家族と相談しながら支援サービス計画を立てていく。これらの過程において、公的な制度として行われる介護保険サービスと、近隣や地域、ボランティアなどが行うインフォーマルサービスを組み合わせ、介護難民になることなく、適切な介護サービスが受けられるよう調整している。②④市内に6か所設置している地域包括支援センター

では、担当圏域の民生委員・児童委員や関係機関と連携して、高齢者などの世帯の見回りを行っている。また、地域見守りあんしん事業では、市内に事業所がある協力企業と協定を結び、業務中に高齢者世帯の異変に気付いたとき、関係機関に連絡をいただく内容の協定を締結している。定期的な連携会議の開催などネットワークの強化を図ることで、孤独死などを未然に防ぐための取組を行っている。③令和3年度、通報を受理したのは14件。うち、認定されたのは8件。通報受理後、全てのケースで事実確認を行う。関係機関、職員などで構成するコアメンバー会議に諮り、虐待事実認定の場合は安全確保のため環境調整を行う。⑤県内では任意後見人が管理していた男性の口座から現金を引き出した疑いで逮捕された事件があったが、当市では同様の事例は確認されていない。成年後見制度利用促進法に基づく、市の基本計画を定めている。制度を必要とする方が安心して利用できるよう相談窓口を設置している。



さいとう かずみ
齋藤 和文
(公明会)

今夏の台風の被害発生時の対応を伺う

問 災害状況をSNS上にアップする時に、文字だけでは分かりにくいので、地図を添付できないか。

部長 危機管理局としては関係課と連携して、被害状況(通行不可など)を情報共有しながら、担当の広報課と対応していきたいと思う。

部長 危機管理局にきた情報を集約できそうだとすれば、企画部としては、広報課の編集能力、スピード能力を生かし、技術的人的には可能と考えている。

問 台風15号が静岡市清水区に水不足をもたらしたが、災害に備えた水の備蓄はどうか。また、保存水の開発についてはいかがか。

部長 非常用保存飲料水は、ペットボトル2ℓ×6,000本備蓄している。保存水の開発について

は、備蓄している保存水の配布先は非常用給水タンクのない避難所を想定しており、災害時の飲料水の調達協定や物資支援協定を締結しているため、市独自で開発は考えていない。

問 防災マップの認知度を広めていく方策(転入者に富士宮市の公式ラインに入ってもらうなど)について。

部長 ラインの力を行政としても使わない手はないので、市民課と連携し前向きに検討していきたいと考えている。

問 富士宮市のマップには市境・県境の情報がほとんどない。市境・県境のハザード情報の防災マップへの入れ込みについて伺う。

部長 現状では国県と所管が異なり、他県の情報を記載すること、更新時期の違いもあり、難しいと考えている。

市長 今後新しい防災マップ作成時に、市外や県外の地図を入れていかなければと考えている。さらに危険な富士宮市以外の追加した地図にも明示していくように修正したいと思う。



うすい ゆきこ
臼井 由紀子
(富岳会)

18歳成人の権利義務及び成人式と敬老会の在り方について

問 選挙権が18歳に与えられて以降の投票率の推移はいかがか。

部長 12回実施され市全体(全年代)の平均は45.7%。若年層はさらに低い。市内に住民票を残したまま市外に居住し、投票のために帰省しないことが影響していると考えるので不在者投票制度の周知を図る。

問 18歳成人となった今後の成人式の在り方についていかがか。

部長 今後も「二十歳を祝う集い」として中学校区ごと分散方式で開催していく。

問 敬老会の見直しについて伺う。

部長 アンケート結果では現状維持で良いとの意見が多いため見直しは考えていない。対象人数

の増加、自治会役員の負担を考えると関係団体と、必要に応じ検討していく。

意見 富士市や他市町では令和3年度より敬老会の廃止を含め見直しが進んでいる。一足飛びにはいかなくとも、一つ一つ詰めて検討していく必要がある。

救急搬送について

問 630問題の現状はいかがか。

部長 救急隊による医療機関への受入れ照会回数6回以上、照会開始から搬送先決定まで30分以上要した、いわゆる630問題に該当する件数は富士医療圏では年250件超。県内他地域と比較しても突出して高い傾向。協議会などで受け入れについて協力依頼を行っている。

問 「救急かけはし」を周知徹底させることが具体案と考えますがいかがか。

部長 昨年度から運用しており、市民への周知を図りたい。

意見 現在まで解決の糸口さえ掴めないでいる。首長同士の話し合いや連携を取る事を望む。



わかばやし しづこ
若林 志津子
(日本共産党議員団)

学校給食をよりおいしくするために

問 学校給食は子どもの成長にとって、とても大事なもの。よりおいしいと思ってもらうために、①子どもたちと教員、調理員の意見。②給食の残食率を民間委託する以前と現在の比較。③学校給食を食べている全員へのアンケートの実施。について伺う。

部長 ①子どもたちからは、味つけ、材料、食べたい料理のリクエストなど。教員からは、具材の大きさ、食べやすさ、彩りなど。調理員からは、家庭での子どもの食事の参考になるなど。②新センターになったことによる残飯率の変化はなかったと考えている。③児童生徒の端末を活用し、小中学校全体に実施したい。

意見 知り合いの中学生からは、リンゴチップパンやお米がおいしい、味が薄いなど野菜の味

がしない、持参した水筒でお腹を膨らませ、家へ帰り何か食べるなど深刻な意見があった。

放課後児童クラブでの困難事例の把握と対策

問 ①放課後児童クラブで気になる子の対応に苦慮している困難事例の聴き取り、または実態調査は。②放課後児童クラブで難しい困難事例の場合は、誰が責任を一番持つのか。

部長 ①障害児受入推進事業の加算対象児童が在籍する放課後児童クラブからは、療育手帳や医師の診断書の写しなどを計画書に添付していただくことになっている。学校で行うケース会議に挙げられたとの理由で加算対象になった場合もある。②運営は育成会で、個別事例として育成会の方を中心に対応していただきたいと思っている。相談があった場合は、市も3者一緒になって、話し合いをもつなど助言をさせていただくといった関りは持っている。

意見 保護者の御理解が得られず、話し合いも難しい事例には、全国の困難事例集などを配る。指導員の立場を明確にするなどが必要。

※一般質問の内容は、議員自身が11月定例会議事録に基づき記述しています。



むらせ ひとし
村瀬 旬
(至誠)

食材費の高騰による給食費の現状と今後の対応について

問 学校給食に関する食材費等と光熱費の価格上昇の状況について伺う。

部長 食料費の価格は、世界的な食料需要の増加やバイオ燃料用作物への転換、ロシアによるウクライナ侵攻による小麦をはじめとする穀物の供給逼迫、急激な円安に伴う輸入価格の高騰などにより高騰。光熱費も大幅に高騰し、電気代は20.9%、ガス代は20%上昇。給食センターでの主な食材としては、大豆油85%、鶏ガラスープ61%など、今後も値上げが予想される。

問 令和4年度は給食材料費に物価高騰分を付加せず給食費を据え置いたが、令和5年度交付金の措置がなくなった場合、市長としては保護者に負担をかけないよう、富士宮市の単独補

助事業として値上げを行わないか、お考えをお聞かせ願いたい。

市長 学校給食法の本旨にのっとり、給食費の材料費については保護者の負担が原則である。今後、国の財政支援がどのようになるかは大変不明瞭であるが、富士宮市としては物価上昇分を市で負担し、給食費は値上げをせず対応していく。

富士宮市の小中学生に、平和教育のため単独または親子でバス見学を企画するために調査・研究をすることについて

問 東京であるので、バスで行ける、また日帰りで行けるとのことから、次の資料館を提案する。平和祈念展示資料館・昭和館・東京大空襲戦災資料センター・戦傷病者史料館。

部長 各々の場所を精査し実現するか調査・研究をしていく。

市長 私自身も行ってみたいと思う。戦争の悲惨さはもちろん、今の日本や東京を力を合わせてつくっていったことは大変教育になると思う。



なかがめ きょうへい
仲亀 恭平
(育成)

セブンイレブンなどでのフリー Wi-Fi が利用できなくなる。今後 Wi-Fi は不要になるのかという点を踏まえて、市有施設の Wi-Fi 整備の現状を伺う

問 災害時のWi-Fi整備について。

部長 各小中学校の体育館でフリーWi-Fiを開放することが可能。避難者のIP登録や確認及び災害情報の収集に役立つものとする。

問 市有施設のWi-Fiサービスについて。

部長 令和5年1月をもって順次提供を終了していく予定。

問 終了するに当たり、市民の方からの意見や不安の声はなかったのか。

部長 市民からの声はなかった。スマホの急速普及やコロナ禍の影響によりWi-Fiの必要性が薄れている。

意見 Wi-Fi環境を残していただきたい。もしも通信ができなくなった場合、代わりになる通信手段を用意することは大切と考える。

総合事業(高齢者が安心して暮らし続けることができるように地域で支え合う体制)について

問 総合事業の対象について。

部長 総合事業では面談により要支援相当と判断される高齢者の方を対象に基本チェックリストを実施する。一定の基準に該当すれば、要介護認定を受けなくても総合事業のサービスを利用することが可能となる。

問 基本チェックリストとは。

部長 全部で25項目の質問があり、生活機能全般、運動機能、栄養状態、口腔機能、閉じ籠もり、認知症、鬱のリスクを判定するもの。

問 富士宮市ならではの強みは。

部長 富士宮市においては健康増進課に理学療法士が正規の職員として配置をされており、保健師や看護師と協力しながら介護予防事業に取り組むことができていることが強みの一つ。



まつなが たかお
松永 孝男
(育成)

学校における「生活の決まり」について

問 「生活の決まり」について、子どもたちがその意味や必要性を理解するような話合いの場はあるのか。

教育長 学級活動や道徳の時間等を利用して、発達段階に応じて必要なときに必要な事項について子ども同士が話し合う場を設けている。

問 髪型のツーブロックが禁止の理由は何か。

教育長 学校の決まりとしては、中学生らしいものであること、周囲や進学への影響を考えながら判断することとなっている。中学生らしいものであるということが、良いか悪いかについては保護者に判断を委ねている。

意見 学校は子どもたちが社会の中でよりよく生きていけるようにするためにある。子どもたちには、自ら考え判断し、自ら決定し行動するよう

な自立する力を身につけさせて欲しい。

令和5年度予算編成方針について

問 コロナ禍の厳しい状況の中でも将来への投資は大切だと思うが、(仮称)富士宮市立郷土史博物館が来年度予算に反映されないことについて市長の考えを伺う。

市長 (仮称)富士宮市立郷土史博物館は必要だと考えている。昨年基本構想を策定し、今年度は市民の理解を得るために説明会を行ってきたが、十分な理解が得られていない。市民の皆様に博物館の重要性を伝える活動を行い、次のステップに進むタイミングを判断する。

問 富士宮市の良さ、文化、歴史などをしっかりと子どもたちに伝えていく、そういう施設として前に進めていただきたい。

市長 次の人に造ってもらおうとは思っていない。朝霧高原や富士山の自然と親しむ人間らしい生活を得ていくには、富士宮市は大きな将来性があると思う。市全体を眺めながら、広い視野に立ってまちづくりをしていきたい。



もちづき よしまさ
望月 芳将
(無会派)

子どもの権利条例制定について

問 子どもの権利条例制定に向けての考えはあるか。

部長 従来から児童憲章の精神を尊重しており、令和2年度から6年度を計画期間とする第2期富士宮市子ども・子育て支援事業計画を推進していることから、現在のところ制定する考えはない。

問 児童憲章を重んじていると言うが、憲章と法令である条例との違いをどう捉えているか。

部長 国においては、こども基本法が令和4年6月に制定された。これから国の基本的な施策が決定され、当市の計画に反映していく。

市長 富士宮市は、条例がなくともしっかりやってきたので条例をつくる必要はない。

意見 私は、市の考え方を普遍的にする必要が

あると思う。

村山浅間神社の整備状況について

問 整備の状況が遅れているが、その要因と進捗状況について。

部長 長期的に発掘調査をしているが、龍頭池の位置が確認できず、そこから水垢離場への導水施設の位置も特定されていない。今後はドローンを飛ばしての三次元調査を実施し特定したい。この調査でも特定できなかった場合は、史跡富士山検討委員会の委員と相談して、その価値を伝えられるような整備を行いたい。

城山公園の駐車場確保について

問 城山公園の駐車場の増設や児童館北の駐車場を使用できないか。

部長 平成23年度に35区画の駐車場の整備を行った。その後、道路の拡幅で5区画減少したが常時満車とはなっていない。よって増設の予定はない。野球の試合やイベント開催時には周辺公共施設の駐車場を併用して、借用し対応していきたい。

※一般質問の内容は、議員自身が11月定例会議事録に基づき記述しています。



さの かずひこ
佐野 和彦
(富岳会)

物価高騰と市民生活を考える

問 電気代、燃料費など、急激な物価の上昇に対し、市民生活の一助に市として考えがあるか。

部長 今後の税収の落ち込みなど本市の財政状況をしながら、特に必要とされるところには、しっかり行き渡るように対策を講じていく。

問 市内の福祉施設から物価高騰による運営の相談があった場合、対応は考えているか。

部長 県では介護サービス事業者等物価高騰対策支援金を交付しており、市内の事業所に周知したところで、支援金の活用を促していきたい。

県道180号や富士山に係る施設の今後

問 国道139号と県道180号(登山道)の交差点に大きな鳥居や大きな金剛杖などを建て、富士山を目指すシンボルにできないか。

部長 鳥居は宗教的意味があり政教分離の観点

で、金剛杖は景観への配慮、交通安全上の問題及び用地の課題があり難しいと考える。

問 案内板の表記を変えることはできないか。

副市長 県のガイドラインを変えないとできないので、次期改定の時、確認する。

富士根北部地区、山宮地区、大岩地区及び万野地区の警察施設の設置について

問 今後、交番の再編成時、要望できないか。

部長 要望は可能。犯罪が続き心配な時は、警備強化の要望を出す。

問 地元の方の遺言でもあるので、今後も継続して警察に言い続けてほしい。

市長 市で解決できないので、県議会議員に要望を出していく。

救急医療情報キット設置のススメ

問 救急医療情報キットを採用することで、救急隊員の負担が減ると思うがいかがか。

市長 必要性、重要性は感じる。市民に知ってもらうために、広報ふじのみやに載せて、全市民、全家庭に知らせる努力をしていく。



つじむら たける
辻村 岳瑠
(育成)

7階食堂を活用した福祉的就労食堂設置の提案

問 福祉食堂の設置は、就労者の自立に結びつく。また、キャッシュレス化でマイナポイントを利用できる食堂であれば、マイナンバーカードの交付率の向上の相乗効果も期待できる。

部長 福祉食堂を行いたいという事業者があればぜひ応募していただきたい。選定の基準は職員の福利厚生に資するかどうかになる。キャッシュレス決済等のデジタル化は、事業者の選考には有効な判断材料になると考える。

未来の食生活を守る戦略「みどりの食料システム戦略」について

問 急速に増加していくことが想定される耕作放棄地について、市の具体的な施策を伺う。

部長 農業経営基盤強化促進法が令和4年5月に改正。今後の農業の在り方を地域ごとに地域

計画として策定していく予定。

問 スマートフォンによる水田の水管理システムなど未来型農業施策に対して、積極的な推進を提案するが、いかがか。

部長 当市の実情に合ったスマート農業の導入及び実証に対して、支援策の研究を進める。

意見 田んぼの多面的機能は、農業をしてくださる方のおかげである。

富士宮まつり富士宮囃子を未来に繋げる提案

問 お祭りがもつ社会課題解決能力について、市が関わりを持てる要素はあるか。

部長 令和5年度から策定予定の、文化財保存活用地域計画策定に、祭りの社会課題解決となる可能性のある活動を盛り込んでいきたい。

問 全125区に対し20区が主体になっている富士宮まつりを未来に伝承していくために、富士宮市全体のお祭りにすることを提案する。

市長 各区の判断ではあるが、お祭りに加えた人は区の了解を得て、ぜひ一緒になって楽しみましようと呼びかけていく必要はある。



さの としお
佐野 寿夫
(公明会)

富士山大沢崩れによる周辺への影響と当市の対応状況と将来予測について

問 現状と当市の対応状況について伺う。

部長 過去より幾度となく異常気象により土流が発生し、沿川住民に大きな被害を与えてきた。富士山西斜面の山頂直下から標高2,200メートル付近まで延長2.1km、最大幅約500m、最大深さ約150mに達しており、昭和45年から現在までの間で幅が40mから50mに広がり、現在も活発に崩壊が進んでいる。富士砂防事務所の国直轄事業で、市民の生命と財産を守り、被害を最小限に抑えるなど大きな事業効果を発揮しており、引き続き財務省をはじめ、関係機関へ精力的に要望活動を行っていく。

問 どのぐらいの土砂が流出し、どこに搬出され、どう活用されているか。

部長 平成元年から令和3年までの33年間で、累積土砂搬出量は約485万m³、東京ドーム4杯分。公共事業等の造成盛土材や農地基盤整備盛土材などとして活用されている。

問 過去に大雨により被害が発生した人穴及び深沢周辺の現状について。

部長 富士砂防事務所に確認したところ、砂防施設の整備に向けた概略検討を行ったが、事業化には至っていない。監視、観測カメラ機器の設置について検討しているが、具体的な実施時期については未定と伺っている。

河川へのごみ投棄を減らす方策について

問 ごみが投棄された場合の対応は。

部長 ごみ投棄を防止するためのチラシの回覧などの工夫を行い、周知啓発の徹底に努める。

問 啓発活動の現状について。

部長 水のまち富士宮を先人から引き継ぎ、清流を未来につなぐため、自治会、関係団体、学校など幅広い年齢層に働きかけ、河川愛護意識が広く醸成されるよう、引き続き取り組む。



こんどう ちづる
近藤 千鶴
(無会派)

フィルムパークの売買について

問 フィルムパークを市が買わないと判断したのはいつ、誰がしたのか。また、どのような会議をし、議事録はあるか。

部長 10月25日に関係部署に土地買取り希望の照会を行い、28日に回答をまとめ、フィルムへ通知しているので、会議及び議事録はない。

問 最初にフィルムからの情報を大中里地区に知らせたのか。

部長 権限もないので知らせていない。

問 前々から富士フィルムとは協議したというのなら、たくさんの方が使用しているのだから大中里の人やいろんな方と意見交換とか検討委員会など考えてこなかったのか。

市長 以前から富士フィルムから話があった。市として検討してきたが、市長として民活でやっ

てもらうほうが賢明だと判断した。

問 買主の株主とか、企業謄本、プロジェクトなど調べたのか。

部長 公拡法第4条に書いてないので必要ない。

問 3年前にも市にフィルムパークを買って欲しいとの要望があったと聞くがどうか。

部長 富士フィルムからも地元住民からも買ってほしいという要望はない。

問 当該土地の用途は聞いているか。

部長 確認していない

問 一部の上層部だけの判断で、執行権の濫用と市民及び議員軽視だと思うがいかがか。

部長 議事機関と執行機関という関係において、さらに情報公開制度においても、一切ない。

意見 フィルムパークの土地は、こんなに市民の皆様が使っているにもかかわらず、市民に対して何の連絡もない、何の協議の場もない、市民をそこに入れようともしない。すっぱりと議会も市民も抜け落ちてしまっている。私は執行権の濫用そのものだと思う。

2月定例会の予定／委員会開催記録

2月定例会の予定 2月8日(水)～3月15日(水)

日	月	火	水	木	金	土
2/5	6	7	8 開会	9	10 議案審議 議運	11
12	13 総務	14 環境	15 産業	16 議運	17	18
19	20	21	22	23	24 議運	25
26	27 代表質問	28 代表質問	3/1	2	3	4
5	6 予算審査 特別委員会	7 予算審査 特別委員会	8	9	10 一般質問	11
12	13 一般質問	14 一般質問	15 一般質問 議案審議 閉会	16	17	18

※議運…議会運営委員会、総務…総務文教委員会、環境…環境厚生委員会、産業…産業都市委員会

◆定例会開催中以外にも、全員協議会、正副議長・正副委員長会議、会派代表者会議、議会だより編集委員会などが随時開催されています。

◆日程は変更になる場合があるため、間近になりましたら議会事務局にお問い合わせください。

TEL : 0544-22-1191

インターネット中継でも視聴できます。
是非ご利用ください。



各種会議開催録 12/1～1/31

12月

- ・11月24日～12月9日 11月定例会
- ・12日 議会だより編集委員会
- ・13日 産業都市委員会
- ・19日 議会運営委員会
- ・21日 議会だより編集委員会
- ・22日 産業都市委員会

1月

- ・11日 会派代表者会議
- ・11日 議会運営委員会
- ・16日 議会だより編集委員会
- ・18日 環境厚生委員会
- ・25日 議会運営委員会
- ・25日 産業都市委員会

※この他にも、議会主催ではありませんが、当市議会から議員を選出している委員会等は随時開催されています。
(例：岳南排水路管理組合、共立蒲原総合病院組合議会議員、監査委員など)

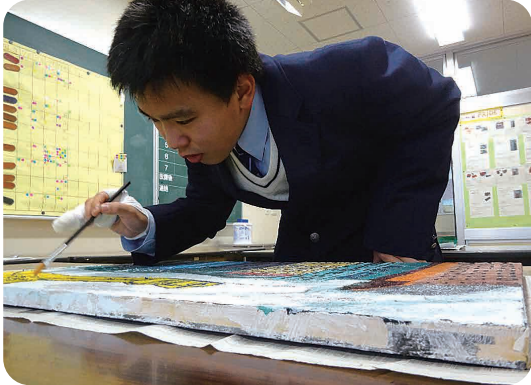


表紙の説明＆



作者高校生紹介

表紙作成者



▲遠藤佑紀さん
作品名:夕焼けの富士山

富士山の山肌のゴツゴツしたところを丁寧に描きました。富士山には、いろいろな顔があり私たちの宝物です。



▲宮分マーケットでの作業製品販売

今回号の表紙は、富士特別支援学校富士宮分校に作成していただきました。次号(6/1発行)は富士宮高等専修学校が作成します。乞うご期待ください！！

校風紹介(学校紹介)

富士特別支援学校富士宮分校です。
誠実・努力・笑顔の校訓と5G(自己コントロール、自己理解、自己表現、自主性、自己解決)を合言葉に、挨拶に力を入れています。

隣接する富士宮北高校と体育祭や生徒会活動、部活動等で交流しています。

また、市役所清掃や大月線の花壇の花植え等、地域の一員として主体的に社会で生きる人を目指し、楽しい学校生活を送っています。



▲富士宮北高北嶺祭体育の部での
集団演技披露

議会に一言

私たちは、防災学習で自助・共助について学びました。避難所で私たちに何かできることがあれば教えてください。

議会に一言へのお返事と編集後記

植松 健一 委員

毎号、編集の過程で市民の皆様には解りやすく、また多くの市民の皆様には読んでいただけるよう、編集委員一丸となり知恵を出し合っております。読んでいただいた皆様の感想などもお寄せいただければ幸いです。

さて、今回は富士特別支援学校富士宮分校の生徒さんより「私たちは、防災学習で自助・共助について学びました。避難所で私たちに何かできることがあれば教えて下さい。」との貴重なご意見をいただきました。高齢化社会の中、災害が起きれば避難所も高齢の方が非常に多くなることが予想されます。そのような中、高校生を中心とした若い方々が、このように考えてくださっていることは非常に心強く、またとても頼もしく感じさせていただきました。

新型コロナウイルス感染症対策財源確保のため、今年度の議会だよりは、表裏表紙以外はフルカラー印刷から2色刷り印刷に変更されています。